



ひとつぶの種

杭州日本人学校
学校便り第154号
令和4年1月号

令和4年 寅年

杭州っ子が大きく成長する一年に!!

明けましておめでとうございます。令和4年（2022年）の新春を健やかに迎えの事とお慶び申し上げます。皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

今年も教職員一同、杭州っ子一人一人が笑顔にあふれる、活力ある学校を実現すべく取り組んでいく所存でございます。保護者の皆様のご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

今年寅年です。中国伝来の十二支は、元来植物が循環する様子を表しており、その年の特徴につながると言われています。寅は十二支の3番目になります。まず、子年に新しい命が種の中で芽生え、丑年には種の中で育つがまだ伸びることができない。その後、寅年になると春が来て芽や根が生じて草木が伸び始める成長の時期だとされ、それゆえに寅年は「才能や運気が芽吹き、新しい成長が期待できる年」と言われるそうです。



一昨年から続くコロナ禍で、学校における教育活動もまだまだ制限された形で行わざるを得ない状況が続いています。しかし、寅年を迎えた今年こそは、強い運気をもって教育活動が今まで以上に活発に行われ、杭州っ子が更に大きく成長し飛躍する一年になることを願っています。



11日間の冬休みでしたが、動静に関わる様々な規制があったことで、例年よりも多くの時間をご自宅でご家族一緒に過ごされたことと思います。

12月24日の後期前半終了式で、子どもたちへ「校長先生から冬休みの宿題」を2つ出しました。その1つに「令和4年の元旦に1年の目標を立てること」があります。また、決めた目標を紙などに書いて家の中の目立つところに貼っておくように話しました。

年の初めに目標を立てることは、1年を有意義に過ごすためにとっても大切なことです。まさに「一年の計は元旦にあり」すなわち「一年の目標や計画は、一年の最初である元旦に立てるのが大事である。」ということです。

お子様は今年の目標を立てることができたでしょうか？

また、その目標はどのようなものでしょうか？ぜひご家庭でもお子様の立てた目標について話題にさせていただき、子どもたち一人一人が『目標（めあて）』をもって過ごせるようにアドバイスをさせていただけたらと思います。



本日からスタートする後期後半は、年度の締めくくりと4月からの新たな出発に備えるとても重要な時期となります。3月には6年生と幼稚部年長が卒業・卒園という大きな節目を迎えます。特に、6年生は小学校生活6年間の集大成として卒業式に臨む心構えが必要です。他の学年も1つずつ学年が上がります。1年生は、2年生となり、お兄さん、お姉さんとして新1年生を迎えます。それぞれの学年ごとに、進級する上での心構えは違いますが、この後期後半にこれまでの1年間のまとめがしっかりとできるよう、そして自信をもって次の学年に上げられるよう、教職員一同、精一杯支援して参ります。